

大田区在住選手の第24回夏季デフリンピック大会出場結果について

大田区在住選手の第24回夏季デフリンピックの大会出場結果について報告する。

1 大会途中での出場辞退について

5月12日付で日本選手団団長から一般財団法人全日本ろうあ連盟のホームページを通じて以下のとおり発表があった。「日本選手団149名のうち、新型コロナウイルス感染症の陽性者が5月10日(火)時点で計11名となりました。

この事態を受け、日本選手団に帯同するメディカルチームと審議を重ね、感染者を分析した結果、感染源は各競技会場にある可能性が高いと判断し、日本選手団の命と安全を最優先に考え、断腸の思いではありますが、5月11日(水)以降の全競技での試合を全て出場辞退することを決断しました。」

2 出場結果

- (1) 伊東 勇哉 (いとう ゆうや) 男 23歳 バドミントン
団体戦 銀メダル
(予選の対トルコ戦で男子ダブルスに出場し勝利)
個人戦 男子シングルス 決勝トーナメント進出 (1回戦敗退)
男子ダブルス ベスト8
混合ダブルス ベスト8
- (2) 瀬井 達也 (せい たつや) 男 39歳 ビーチバレーボール
決勝トーナメント棄権
- (3) 阿部 菜摘 (あべ なつみ) 女 22歳 サッカー
- (4) 宮田 夏実 (みやた なつみ) 女 24歳 サッカー
予選トーナメント途中で棄権 (1勝2敗)

3 高田裕士選手(高田千明選手の夫)からのコメント

陸上競技は、屋外競技で感染リスクが低いことなどから競技団体として出場辞退撤回を申し入れ、また、日本にいる家族や友人も署名活動をするなどしましたが、残念ながら出場辞退の決定は覆りませんでした。

出場辞退の説明会では、連盟としては「感染予防対策は十分に準備をしてきたが、感染した場合を想定していなかった。」ということでした。

自分を含め、日本代表として参加する選手は感染リスクを含め命をかけて参加している、という思いを理解してもらえなかったのは本当に残念ですが、これも人生かなと思います。

4 区長への表敬訪問について

伊東勇哉選手の銀メダル獲得を受け、区長への表敬訪問を下記のとおり行う。

- (1)日時 令和4年6月30日(木) 11時30分から11時45分
- (2)場所 大田区役所
- (3)所属 全日本空輸株式会社